

お客さまとともに



グループCSR憲章

私たちは、いつの時代においても、
お客さまとともに歩みながら、感動体験を創造し続けます。

グループ行動規範

「安心・安全・高品質」「顧客の満足」「製品安全性の確保」

- (1) 常にお客さまの期待に応えられる、安心・安全かつ高品質な商品・サービスの提供に努めます。
- (2) 常にお客さまの声に耳を傾け、満足頂ける商品・サービスの提供に努めます。
- (3) 常にお客さまの目線に立ち、適正価格で、かつ迅速な商品・サービスの提供に努めます。
- (4) 常に市場に目を配り、時代の変化に敏感であり続け、技術向上・アイデア創出に努めます。
- (5) 自社の責任で製品設計を行う場合、製品が各国の法令等で定める安全基準を満たすよう努めます。

「適正な取引関係」「情報開示」「クレーム・通報」

- (6) お客さまとは常に適正な取引関係を保ちます。適正な利潤を損ねるような不当廉価販売、正常な商行為と認められないような行為は一切行いません。
- (7) セガサミーグループの企業活動・商品・サービスについて、お客さまのより一層の理解に役立つ情報を、積極的に開示します。
- (8) クレーム・トラブル・事故等については、内容を精査し、適切な対応を行います。



(株)セガ・ロジスティクスサービス
菊地 隆幸 (Kikuchi, Takayuki)



レトロ機再生にける想い

2017年2月にセガ・インタラクティブより「かつてのセガ時代のヒット作(AM機器)に関し、リファビッシュして公開(展示)したい」と協力要請がありました。「プロジェクトを立ち上げ横断的な協力体制で行う」とのことからAM中古機器のメンテナンスを行う弊社にお声がけをいただきました。

所在地の千葉県・矢口事業所は、1991年から物流倉庫に併設された大型AM機器の生産工場として、幾多の新製品製造に携わってきました。そのため補修業務用の設備や経験のある人材が集まっています。

錆取りから塗装や欠落部の再生など、たいがいの修繕は行えるものの、部品が無い場合は別の機械から移植したり、メンバーの方が当時の情報を方々からかき集め、業者を探して新たに部品をつくっていただくなど、壮大なプロジェクトになっています。

再生されたレトロ機のお披露目イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言を受けて中止されるなど当面は先になりそうですが、若い方はセガの歴史を感じていただくと同時に、思い出のある方には当時を思い浮かべてもらえるよう、多くの機器を送り出せればと思います。



お客さまの特別な思い出づくりのために

従来のアミューズメント施設に加えて、特殊業態(飲食店のYogorino(ヨゴリーノ)・物販店のsepurish(セプリッシュ))の合計3店舗を統括しています。特殊業態では、女子中高生向け雑誌「Seventeen」のイベント時の新メニュー提供や、「制服でいちばんかわいく撮れる場所」というコンセプトのもと、お客さまの特別な思い出づくりを社員全員でお手伝いしています。



ほかでは味わえない特別な時間を、一人でも多くのお客さまに体験していただけるよう、特殊業態で活躍できる女性社員を増やしていきたいと考えています。また、今後の人口減少に伴う女性の働き手・ニーズの増加に対しても、私自身がロールモデルとなることで、女性社員に「女性でも店長になれるんだ!」「私もこの会社で働きたい!」と思ってもらえるように日々取り組んでいます。



(株)セガ エンタテインメント
大型施設営業部
仲田 華奈子
(Nakada, Kanako)



SEGA Sammy
GOLF ENTERTAINMENT

セガサミーゴルフ
エンタテインメント(株)
運営部
澤田 美月
(Sawada, Mitsuki)

ゴルフ場の顔としてより良い一日を お客さまに過ごしていただくために

フロントスタッフはゴルフ場の顔として、朝のチェックイン業務、精算、成績表出しの準備、帰りの精算業務が主な業務となっています。お客さまが気持ちよくゴルフを楽しんでいただけるように、準備することを常に心がけています。

入社2年目のため、まだまだ分からないことがたくさんあり、日々勉強の毎日ですが、お客さまから「来てよかった。ノースを選んでよかった」「また来たい」と思っていただけるような接客対応ができるよう、フロントスタッフ、他セクションとのコミュニケーションを密に取り合い、チーム一丸となって頑張っていきたいと思います。



作品と同じ世界感を3次元でお届け

ミュージックビジネスチームは、ライブ・コンサート・舞台などのライセンス業務を行っています。アトラスのゲームを愛してくださっているファンの期待を裏切らないためにも、作品の世界観をそのまま再現することを目標としています。「ペルソナ5」の舞台化作品「PERSONA5 the Stage」では、開発スタッフと舞台スタッフが直接話のできる場を多く設け、衣装は生地から、ウィッグやメイクだけでなくキャラクターの仕草まで細かく監修し、舞台用音楽もアトラスサウンドクリエイターの喜多條敦志さんに作曲していただきました。

個人的にいずれは海外公演も行い、世界中のファンにゲームの世界をお届けしたいと思っています。



ATLUS

(株)アトラス
セールス&
ミュージックビジネス部
原田 礼乃
(Harada, Ayano)

セガとつながるステークホルダーの皆さまへ 感謝を込めて～セガ設立60周年施策～

2020年6月3日、セガは設立60周年を迎えました。4月からの1年間は「GO SEGA」をキーメッセージに掲げ、お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーがセガグループとのつながりを感じることができる施策を展開しています。

現在お客さまとの主な接点となっている特設WEBサイトでは、世界中からお寄せいただいた5,800件以上のお祝いメッセージを掲載しています。また、本プロジェクトのアンバサダー「せが四郎」のPR動画は、700万回再生となるなど、往年のファンからライトユーザーまで、多くの方にセガの魅力を感じていただけていると実感しています。



「GO SEGA」をあしらったグッズ制作や冊子掲載も行っています

残念ながら新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、実施を見合わせたイベントもありますが、これまで数々の困難を乗り越えてきたセガグループのDNAや「GO SEGA」に込めた私たちの熱い思い、未来へ強く前進していく姿をお客さまにお伝えできるよう、日々発信を続けていきます。



(株)セガ
セガ設立60周年プロジェクト 事務局

左から(3名)

八代 隆行
(Yashiro, Takayuki)

小池 麻由
(Koike, Mayu)

亀卦川 滋
(Kikegawa, Shigeru)

遊技機の“EC販売”を推進します!?



サミー(株)
営業本部 EC推進部

村野 直人 (Murano, Naoto)



前列左から(3名)
井上 謙治 (Inoue, Kenji)
嶋田 崇 (Shimada, Takashi)
嶋島 茂雄 (Narushima, Shigeo)

後列左から(5名)
村野 直人 (Murano, Naoto)
坂元 秀樹 (Sakamoto, Hideki)
長谷川 雅昭 (Hasegawa, Masaaki)
松岡 亮 (Matsuoka, Ryo)
森永 太志 (Morinaga, Taishi)

今やどこでもネット環境につながり、車でさえスマホで簡単に購入できる時代になりました。一方で、遊技機業界では、対面販売での機械購入や電話・FAXでの部品注文がいわば当たり前です。そのような中でサミーは、いち早くアフター部品のネット注文サイトを展開してきましたが、2020年は、いよいよ遊技機製品のEC注文にも対応していきます。

我々のミッションは、このEC(eコマース)を推進することにほかありませんが、単純に販売やサービスのすべてをネット上で完結させることが正解ではないと考えています。

「実機を試打してネットで購入」「ネットで商品を確認してショールームで商談」など、お客さまと接するスタイルはお客さまの数だけあります。現在の商慣習のみにとらわれず、かつ、既存リソースやナレッジを無駄にしない。対面販売とECの“いいところどり”によって、今まで以上にパーソナライズ化した商品やサービスをお届けすることが使命と考えています。

また、今後はグループ会社の力を結集して遊技機販売のみにとらわれることなくWEBというメディアを活かして様々なサービスを展開することでお客さまのビジネスの成功を支援していきたいと思っています。



お客さま満足の追求

お客さまニーズの把握と反映

■ お客さまサポート体制

E お客さまの声を製品・サービスの品質向上につなげるため、ユーザーサポート窓口を運用する一方で、様々なお客さま情報を社内各部署に届ける専門の組織（CRM推進部）を設けています。

① お客さま満足の追求

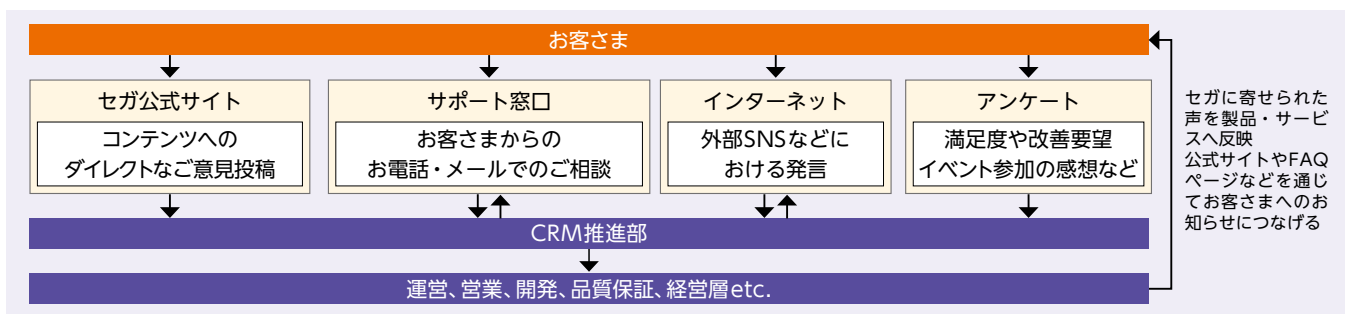
ユーザーサポート窓口の運用を通じて個々のお問い合わせに迅速・的確にお応えする一方で、ツールを活用してアンケート・WEBサイト・外部SNSなどからお客さまの声を効率的に収集し、関連各所へ市場の動きを報告しています。開発など事業側では製品・サービスの利用状況と組み合わせ、徹底的に分析することで、スピーディな改善や進化、新企画の創出に活かす体制づくりが進んでいます。

② 安全かつ合理的な個人情報の取り扱い

グループ横断でユーザー認証やオンライン決済を可能とする会員システム「SEGA ID」のインフラを提供するとともに、会員IDをキーにしてゲームの利用情報などと結合・蓄積できる仕組みを構築しています。また、2017年6月にはプライバシーマークを取得し、お預かりする個人情報がより適切に管理・運用される環境を設けつつ、プライバシーマークの社外掲出を通じて社会的な信頼の獲得にも努めています。

同部署では、これまでもITツールを使い、ユーザーデータの調査を行っていましたが、お客さまに「もっと深く・ずっと遊んでいただくための関係構築」をスローガンに、一部開発部署からゲームサーバーログの提供を受け、お客さまの利用背景とお問い合わせ内容を掛け合わせての迅速な問題解決と、市場報告強化による顧客情報活用の社内促進に取り組んでいます。

■ お客さまの声にお応えする仕組み・体制（エンタテインメントコンテンツ事業）

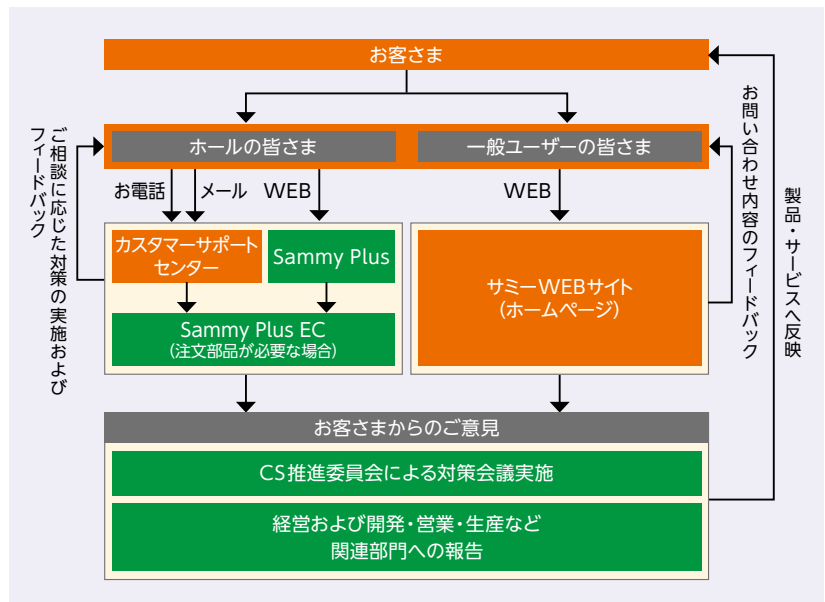


遊

2017年度には、コールセンターとパーツセンターを統合し、カスタマーサポートセンターを設立しました。電話での機械故障やトラブルシューティングに関するお問い合わせ受け付けからアフター部品の出荷、故障のお問い合わせをいただいたお客さまへのフォローコール、故障部品の回収までを一元的に実施しています。さらに2020年からは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってサポートセンターの営業自粛を余儀なくされたことを受けて、メールでの問い合わせも開始し、今まで以上にスピーディーな対応を実現しました。さらに、故障部品を実機に装着する研修などを通じて、故障箇所をより的確に診断するスキルの向上を目指しています。また、以下の利便性向上施策を推進することで、お客さまがより利用しやすい環境の整備を進めています。

- ① 電話のみでの説明が難しい部品の「搭載箇所」や「交換方法」を、WEBサイト「Sammy Plus」を併用して分かりやすく説明するマルチチャンネル案内の実施
- ② お客さまのご都合に合わせた部品注文および製品購入が可能となるECサイト「Sammy Plus EC」の展開

■ お客さまの声にお応えする仕組み・体制（遊技機事業）



③ 競合メーカーのコールセンターとの電話番号統一など

サポートセンターには2019年度だけで約16,000件のお問い合わせがありました。それらをカスタマーサービス部で集計・分析し、タイムリーに関連部門へ共有することで、故障抑制や遊技機の操作性向上など、開発部門や生産部門のものづくりに活かされています。

製品・サービスの安全と品質保証

品質保証体制

E セガ・インタラクティブでは、営業、開発などのラインから独立した立場の品質保証部が、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理することで、体制の強化を図っています。特に製品の安全性については、自主基準並びに業界団体 (JAIA^{※1}) のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、開発や生産、営業、品質管理などの各部門の関係者が集まり、製品仕様・設計仕様・量産仕様・量産判定の4つの観点で製品を評価するデザインレビューを実施しています。

このほか、様々な安全管理手法を用いて製品のリスクを評価するPL^{※2}診断も行っており、さらに出荷判定会議で出荷の最終的な判断を議論するなど、厳しい基準を満たした製品のみを市場にリリースしています。

※1 JAIA：一般社団法人 日本アミューズメント産業協会

※2 PL：Product Liability (製造物責任)

AM機器の品質保証全体フロー概略



※ DR：デザインレビュー (設計審査)

お客さまの声を活かす仕組み (アミューズメント機器)



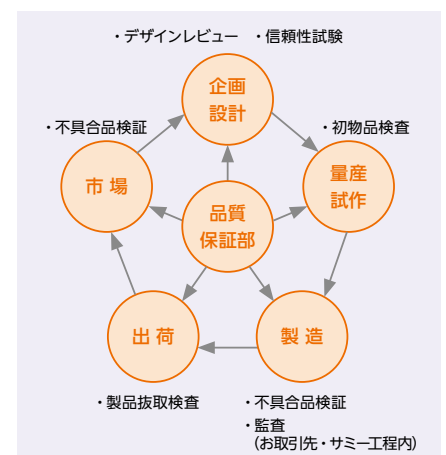
遊 サミーでは積極的な創意工夫と効果的に改善を行う品質保証活動により、安全で良質な製品やサービスを提供しています。また、人体の安全にかかわる「重要不具合」ゼロという目標を設定し、実現のための施策として以下の活動を行っています。

- ① 品質マニュアルの作成や品質記録の管理
- ② お取引先における4M[※]管理チェックや監査・指導
- ③ 生産時における工程監査や高温環境下での製品打込み検査
- ④ 可動役物の検査仕様の適正化と寿命試験による評価検証
- ⑤ 開発・営業・生産部門との品質に関する連携

これらの活動により、「重要不具合」ゼロの目標を達成しました。

※ 4M：Man、Machine、Material、Method

品質保証活動 (遊技機事業)



健全に楽しんでいただくための取り組み

製品・サービスへの表示とラベリング

E セガゲームスでは、家庭用ゲームソフトの製品パッケージや取扱説明書などに関して、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本においては、CERO[※]に基づく対象年齢表示に加え、独自の自主基準も表示しています。またCEROの審査を通じて得たノウハウを蓄積し、事例をもとにした9カテゴリー、26項目のガイドラインを策定しているほか、メールマガジンを通じて国内外の倫理的な表現問題に関する最新事例を随時発信することで、社員の意識向上を図っています。

※ CERO：特定非営利活動法人 コンピュータエンターテインメントレーティング機構



適正なコンテンツ利用のための整備

E 遊 エンタテインメントコンテンツ事業のセガ並びに遊技機事業のサミーネットワークスが提供するスマートデバイス向けコンテンツでは、主に、未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、国内向けのほぼすべてのタイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けています。また、有料で販売しているポイントなどを使用して遊ぶ「ガチャ」については、入手できるアイテムのレアリティごとの、もしくはアイテムごとの入手確率を明記することを社内ガイドラインで定めるなど、曖昧な表現による過度な期待や、それによる行き過ぎた課金にならないように努めています。いずれも業界団体のガイドラインに準じたもので、今後も、利用者の皆さまが安心して楽しめる健全なゲーム環境づくりに努めていきます。

不正防止対策

遊 遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」(2004年7月施行)を受けて、遊技機事業では、不正な方法で利益を得る、いわゆるゴト行為を未然に防ぐために遊技機不正対策グループを設置し、継続的に市場情報を収集し不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。複雑化する不正改造に対しては、遊技機の流過程を把握することで、不正に改造された遊技機そのものを市場から根絶していく取り組みを進めています。

また、当社または当社グループ会社を騙った「サクラ・打ち子」などの不審な勧誘や一部市場に流布している根拠の無い不当な攻略情報に対し、サミーのWEBサイトや小冊子などで注意を促すなどの対策を図っています。



倫理・社会的な配慮

E 遊 セガ・インタラクティブでは、JAIAの制定する「健全化を阻害する機械基準」の運用規程を遵守し、製品化前の社内検証において、過度に残虐な表現やお客さまを不快にさせる表現が無いか、チェックしています。サミーでは社内の監査機関である倫理委員会を設置し、一定の倫理基準や社会ルールなどを満たした遊技機を開発しています。また、独自のガイドラインを策定し、犯罪行為を誘発、または著しく射幸心をあおる恐れのある内容などが演出に含まれることのないように管理しています。のめり込み防止(射幸性に関する研究協力含む)に関する取り組みは「統合レポート2020」をご参照ください。

依存症対策

E 世界保健機関 (WHO) 年次総会 (2019年5月) において、オンラインゲームやテレビゲームの過度なプレイによって、「ゲーム依存症」が新たに疾患として認定されました。

エンタテインメントコンテンツ事業部門では、射幸性が高く高額課金につながるような「ガチャ」に関して、未成年の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、一部タイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けるほか、社内ガイドラインを定め、曖昧な表現による過度な期待や、それによる行き過ぎた課金を防ぐように努めています。

一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 (CESA)、一般社団法人 日本オンラインゲーム協会 (JOGA)、一般社団法人 モバイル・コンテンツ・フォーラム (MCF)、一般社団法人 日本eスポーツ連合 (JeSU) のゲーム関連4団体では、ゲームプレイにより引き起こされる事象に関する調査・研究およびゲームの楽しみ方に関する啓発などを推進する4団体合同検討会を設置しました。現在4団体合同検討会では、外部有識者の研究会と連携してゲーム障害についての調査研究を進めており、今後効果的な対策の検討なども進めます。当グループは、4団体合同検討会と連携しながら適切な対応を行っていきます。

遊 遊技業界では、2003年のぱちんこ依存問題研究会の発足を契機に、のめり込みに関する対策に乗り出しました。2006年には、業界団体の支援によって「リカバリーサポート・ネットワーク (RSN)」が設立され、啓発活動や電話相談などの幅広い取り組みを展開しています。

このほか遊技業界では、2016年12月に「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」(IR推進法) が公布されたことに伴い、国のギャンブル等依存症対策に対応するため、2017年1月に、遊技産業14団体 (総称：パチンコ・パチスロ産業21世紀会) が「パチンコ・パチスロ依存 (のめり込み) 問題に対する声明」を発表。これまで「RSNの相談時間」の拡大、「自己申告プログラム^{*1}」の対象項目追加、「家族申告プログラム^{*2}」の導入、全国各店舗で依存問題に関する相談に応じる「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の配置や2018年2月に施行された改正規則に適合する遊技機への入れ替えなど、様々な取り組みを推進しています。さらには同年12月に業界の依存問題対策について評価・提言を行う第三者機関「パチンコ・パチスロ産業依存対策有識者会議」を発足させ、客観的な意見を取り入れる環境を構築しました。

また、2019年12月には、依存問題対策の指針や具体的な取り組みを明記した「パチンコ依存問題対策基本要綱」並びに「パチンコ・パチスロ産業依存問題対策要綱」を策定・公表し、依存問題対策の取り組みを加速させています。

当グループは、こうした取り組みを主導し、業界の健全な発展に貢献していきます。

^{*1} ご自身が、1日の使用上限額や上限遊技時間、1ヶ月の来店上限数を自己申告すると、その上限を超えた場合に入店を制限するプログラム

^{*2} ご家族からの申告により、ご遊技をされるお客さまの同意のもと、入店を制限するプログラム



依存症ポスター

安心安全なIR 施設の開発・運営を目指して

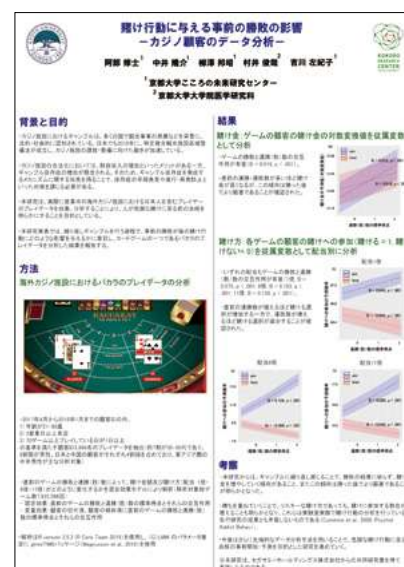
■ ギャンブル依存症についての産学共同研究を開始

R セガサミーホールディングスと、国立大学法人 京都大学は、ギャンプリング行動の遷移に関するデータの収集と分析を通じて、ギャンブル依存症のプロセス研究^{*}を産学共同で行います。

本研究は、実際に営業中の海外カジノ施設におけるプレイヤー (日本人を含む) のプレイデータを収集・分析することにより、人が危険な賭けにいたる前の兆候を明らかにすることを目的として実施します。セガサミーグループでは、本研究成果と結びつけることにより、依存症の兆候がみられるプレイヤーを早期に発見し、深刻化を未然に防ぐ仕組みの確立を目指します。あわせて施設利用時における自制・抑制を促す施設オペレーションを確立することで、啓発・予防から医療機関などによる治療との連携まで一貫した体系的なギャンブル依存症対策の構築を目指します。

これまでの研究では、「賭け行動に与える事前の勝敗の影響」がデータ解析より明らかになりました。このことに関する論文の執筆も完了し、2019年9月に日本心理学会第83回大会にて研究発表しました。依存症兆候の検知に向けては、継続的に研究を進めています。

^{*} 本共同研究は、京都大学こころの未来研究センターにおいて、2023年3月まで延長して実施予定。



心理学学会ポスター

お取引先とともに



グループCSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、共に感動体験を創造し続けます。

グループ行動規範

「公正な関係」「公平な選定」

- (1) お取引先との関係は、常に清廉・透明・公正なものとし、もたれ合いや癒着と誤解されるような行動は、一切行いません。
- (2) お取引先との関係において優越的地位を濫用した不当な不利益を及ぼす取引[※]は行いません。
- (3) お取引先の選定については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力等を総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断します。
- (4) グループ会社とも、透明で公正な取引を行います。

「接待・贈答」

- (5) お取引先に接待・贈答を行う場合は、社内で定められたルールに従うだけでなく、社会的常識に照らし合わせ、節度を保ち、適切に判断し、実行します。

「個人利益」

- (6) お取引先とは、立場を利用して利益や便宜の供与を受けるなどの個人的利益の追求を行いません。

※ 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(独禁法)、下請代金支払遅延等防止法(下請法)等をいう。



SEGASammy
HOLDINGS

セガサミーホールディングス(株)
リゾート事業本部

内島 崇
(Uchijima, Takashi)

全員一丸となって権威ある賞を獲得

韓国・仁川のパラダイスシティにおいて、ファミリー対象施設「ワンダーボックス」開発プロジェクトマネージャーを担当しました。「夜の遊園地」というコンセプトの具現化を8ヶ国以上の方々と創り上げ、2019年3月に開業しました。開発期間中は極力現場に赴き迅速な意思決定とマネージメントで効率的な品質・コスト・納期の管理を行い、開発に関わった全員が一つのチームとして開業というゴールをまずは達成できるように心がけました。開業後の運営においても、お客さまの満足度向上を関連ベンダーとの協力で日々切磋琢磨しており、結果としてエンタテインメント業界の権威の一つであるTEAという団体が行っている表彰制度で、世界の優れた文化施設に贈られる「アウトスタンディング・アチーブメント賞」を受賞できたことはプロジェクトにかかわった全員の成果だと思っています。今後も常に新しい遊びを提供し続けていきます。



「夜の遊園地」をイメージした幻想的な内観

世界で作って世界へ届ける。 より多くのお客さまに楽しんでいただける ゲームソフト展開を目指して

日本から海外、および海外から日本へのゲームソフト展開を推進するため、セガが培ってきた海外ビジネスのノウハウや流通網を用いて、新たな販路を築きたいソフトメーカー様のニーズにお応えしています。

海外でゲームソフトを販売する際、あらゆる面でローカライズ（現地に適した手法）をとることが大切です。先日、とある国内ソフトメーカー様の商品ライセンスをお預かりしてアジア地域で販売したところ、期待を上回る結果を残すことができ、ソフトメーカー様にも大変喜んでいただきました。現地の言語で自然な言い回しになるよう仕様変更をしたり、現地社員が適切な営業・プロモーションを行なうなど、細やかな対応がこのプロジェクトの成功、そしてソフトメーカー様の満足につながったと確信しています。

私たちの業務はいわゆるBtoBビジネスですが、その先で待っていてくださる世界中のエンドユーザー様に多くのタイトルをお楽しみいただけるよう、より広い地域への展開も実現していきたいと思っています。



アジア地域での
商談会の様子



(株)セガ
グローバルパブリッシング事業本部
ジャパニアジアパブリッシング
事業統括部 事業開発統括部 ソフト推進部

田草川 貴子
(Takusagawa, Takako)



サミー (株)
研究開発統括本部
知財・渉外本部 渉外部
(右)伊東 竜馬 (Ito, Tatsuma)
(左)松本 翔 (Matsumoto, Sho)

業界全体の未来のために

渉外部では、ぱちんこ業界全体をより良い方向へ主導していくため、その具体的方策を企画立案し、ライバルである競合他社とコンセンサスを図りつつ、お客様であるホール団体や監督官庁である警察庁などと調整・交渉を行い、実現につなげることを主な業務としています。

私たちは、サミー社員として、業界におけるリーディングカンパニーであるという誇りを持ち、業界が抱える遊技人口の減少や依存対策などの問題、また遊技性向上や流通健全化といった継続的課題、さらに直近では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による営業自粛や、自然災害に対する社会貢献活動など、様々な課題の解決に向け業界の中心でリーダーシップを発揮し、業界の活性化・効率化・健全化を推進し、業界と企業の持続可能性に寄与するための活動を行っていきます。



組合による
ファンイベントの様子

公平・公正な取引の徹底

お取引先への要請事項

「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」にそって、以下の項目に対する取り組みをお取引先へ要請しています。

- I. 労働
非差別・人権尊重、賃金、労働時間、団結権、児童労働禁止
- II. 環境
化学物質管理、環境影響の最小化、3R、廃棄物の適正処理と削減
- III. 安全衛生
職場の安全衛生対策、労働災害・労働疾病、健康管理
- IV. 品質・安全性
製品安全性の確保
- V. 公正取引・倫理
汚職・贈収賄、優越的地位乱用等の禁止、情報提供、知的財産、輸出管理
- VI. 情報セキュリティ



「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」

https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101_supplychain_csr.pdf

調達・購買におけるCSR活動の推進

E 2015年度より「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に対するご理解と実践をいただくことを取引の際の基本契約書に盛り込んでいます。既存のお取引先についても契約書の更新をお願いしており、概ね93%で再締結が完了しています。

遊 遊技機事業では、「生産購買外注管理規程」など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規取引開始の際は所定の審査を行い、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。継続監査にあたっては、每期内容を見直し、実施しています。2019年度については実施予定数81社に対し76社の実施に留まりました。残りの5社については新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができませんでしたが、今期については前期の反省を活かし、リモートで監査する方法について検討していきます。

下請法遵守体制の強化継続

遊 下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、グループ全体を対象としたeラーニングの受講科目に下請法を追加するなど、社内教育の強化を図っています。例年11月に設定されている下請法強化月間における講習会への参加とその内容(変更点他)の水平展開をグループ会社の関係部門へも実施。遊技機事業の購買部内教育については新人、異動者に対する下請法教育プログラムの実施を標準化することにより、購買業務未経験者においても、これまで以上に速やかに下請法を理解し、業務に取り組むことができるようになりました。

また、お取引先との相互信頼と清廉性に則った健全な取引を維持していくことを目的に、相談窓口として社内外に「セガサミーグループ企業倫理ホットライン(内部通報制度)」を設置しています。なお、相談を受けた場合は、お取引先が不当な扱いを受けることがないよう事案にかかわったグループ各社の担当者ではなく、中立的な立場であるセガサミーホールディングスに対応し、担当役員が責任を持って対処します。

アミューズメント(AM)資材調達方針

【基本姿勢】

1. 当社のAM資材調達活動にあたる全ての社員は、法令・社会規範を遵守し、「セガサミーグループ行動規範」および各種社内規程に則り良識ある行動をします。
2. 当社のAM資材調達は清廉・公正を旨とし、お取引先に対して公平かつ誠実に対応いたします。
3. お取引先とは、公正な取引のもと信頼関係構築に努め、協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求し、相互繁栄を目指します。

■ 児童労働・強制労働の禁止

E 主に海外の委託工場などでの児童労働および強制労働の禁止についての取り組みを進めています。プライズ商品の調達に関しては、セガ・インタラクティブでは、購買部門および品質管理部門が合同で毎月、製造委託先の工場を訪問し、工場監査を実施しています(サプライヤー監査、カバー率96%)。監査の結果、リスクが高いサプライヤーはありませんでした。また、2019年度は、購買および調達担当者19名がセガサミーホールディングス実施のCSR調達研修に参加しました。

セガ エンタテインメントでは、アミューズメント施設用のプライズ商品について、主要調達先への奴隷労働や人身取引に関するアンケート調査を実施し、管理状況の確認などを実施することによってリスク低減に努めています(サプライヤー監査、カバー率80%)。監査の結果、リスクが高いサプライヤーはありませんでした。

玩具商品の調達に関しては、セガトイズでは、児童労働および強制労働に関する法令遵守条項を盛り込んだ製造委託基本契約書の締結、購買部門社員や現地担当者の人権に関する研修の実施を行うとともに、第三者機関による製造委託先企業の労働基準順守証明書の取得状況のチェックなどを実施しています(サプライヤー監査、カバー率96%)。

■ 英国現代奴隷法への対応

E セガサミーホールディングスは、当社グループの事業及びサプライチェーンにおける奴隷労働および人身取引などの人権侵害を防止するための取り組みについて、2015年に英国で施行された現代奴隷法第54条の定めに基づき、本声明を公表しています。



英国現代奴隷法に関する声明(仮訳)

https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr_library/uk_modern-Slavery-Act-statement_jp.pdf

CSR調達研修

英国で現代奴隷法の制定がなされ、児童労働や強制労働などの人権侵害問題の法規制が進んでいます。エンタテインメントの業界もこれら人権侵害問題と深いかわりがあり、グループ企業7社の調達、購買関係者を対象に2018年度よりCSR調達研修を実施しています。2019年度は新型コロナウイルス感染症の対策の影響で延期していますが、今後も、講義『CSR調達～サプライチェーンへのCSR浸透～』、カードゲーム『GAME OF CHOICE』を通じて理解を深めるとともに、セガサミーグループの一員としての社会との関わり方について考える機会を創出していきます。

お取引先とのパートナーシップ

■ サプライヤーとの連携

E セガ・インタラクティブでは、開発方針、調達方針などを説明するサプライヤーミーティングを開催し、環境配慮や品質への取り組み課題を共有するなど、サプライヤーとの連携強化に努めています。2019年度は90社161名のお取引先にご参加いただき、うち98.7%から「有益だった」との回答をいただきました。



2019年度サプライヤーミーティングの様子

社員とともに



グループCSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり、最大の財産です。
私たちは、社員がもつ限りない可能性を
最大限発揮できる企業文化を育み、ともに成長していきます。

グループ行動規範

「職場環境の整備」

- (1) 社員の安全と健康に配慮し、安心して勤務できる職場環境を構築します。
- (2) 社員が個々の能力を十二分に発揮し得る、「働き甲斐」「やり甲斐」のある柔軟性に富んだ会社になります。

「ハラスメント」「差別」

- (3) セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、プライバシー侵害等、職場環境を乱す行為は行いません。
- (4) 人種・信条・性別・年齢・障害・学歴・門地等を理由とした、雇用機会や待遇の均等を損ねる差別行為は行いません。

新型コロナウイルス感染症対策とリモートワーク環境について

プラットフォーム部ネットワーク課では、リモートワークを行うためのインターネット回線の提供、VPN装置の構築、運用、管理を行っています。またユーザーサポート課では、PCの設定サポート、問い合わせ対応、オンライン(音声・ビデオ)会議のサポートなどを行っています。

新型コロナウイルス感染症対策においてほぼすべての社員がリモートワークを行う必要もあり、3月から4月にかけて設備の増強を行い、現在は安定稼働していると認識しています。可能な限り業務の生産性を低下させないよう、IT面においてサポートすることを意識しています。今後リモートワークがより浸透していくことが想像できますが、まだまだ課題もあると思っているので、ITの側面からセガサミーグループに対し、より良いリモートワーク環境を提供していくことができるよう努力したいと思います。



SEGASammy
HOLDINGS

セガサミーホールディングス(株)
ITソリューション本部
プラットフォーム部 ユーザーサポート課

(右)石森 拓郎 (Ishimori, Takuro)

(左)小宮 康幸 (Komiya, Yasuyuki)



チャレンジングなタイトルを開発するために！

現在、カジノに提供するタイトルのソフトウェア開発に携わっています。その中で、スロットマシンのソフトウェア開発をサポートするパッケージライブラリの作成を担当しています。

カジノ市場でタイトルを販売するためには、国や地域ごとの様々なレギュレーションに対応しなければなりません。また、カジノゲームに必要な不可欠な機能も多数存在し、一つひとつ対応する必要があります。

パッケージライブラリがそれらの基本的な機能を提供することで、開発者は基本的な部分の実装に煩わされることなく、今までにないチャレンジングなゲーム性の追求に集中することができます。

セガサミークリエイションだからできる革新的なタイトルの開発に貢献できるように、今後もパッケージライブラリを開発を続けていきたいと思っています。

セガサミークリエイション(株)
開発本部 ソフト開発部
畦浦 龍 (Azeura, Ryu)



会社理念を謎解きで楽しく！

ダーツライブは独自のコーポレートアイデンティティ(以下CI)を掲げ、日々理解を深めることや業務での実践を意識しています。私の所属する部署では月に1回自分なりのCI・カルチャーについてスピーチする機会があるのですが、せっかくならエンタテインメント企業らしくだれもが楽しめる方法でCIについて理解を深めることができないかと考え、自分の得意分野の一つ「謎解き」をつくってみることにしました。発表すると予想以上の盛り上がりとなり、結局この謎解きは部署を超えて全社員で楽しむことに。自分のつくった謎解きが学びを深めるきっかけになったこと、とても嬉しく誇りに感じています。

仲間を探して答えを導きだせ



(株)ダーツライブ
サービス戦略本部
トータルサービス企画部
秦 昂司 (Hata, Koji)



好きや得意を発見しよう！

動画共有・応援コミュニティ「アメチャ」

子どもの「好き」や「得意」を発見して伸ばしてあげられる、そんなサービスを提供したい—そのような想いで動画共有・応援コミュニティ「アメチャ」を2020年4月にリリースしました。

もともとは「子ども世代のマーケットデータ収集」という自社の課題解決を目指してスタートした企画であるため、総務部経営企画課とプロモーション部による混合チームで動いています。セガトイズ初の自社メディアということもあり、新しいことを生み出す苦勞もありましたが、チーム内での情報共有を綿密に行ったり、グループ企業

であるトムス・エンタテインメントのメディア立ち上げ経験者からご意見やアイデアをいただくなど、多様な視点から企画を見つめることで、ワクワクするメディアをつくることができたと思っています。

このメディアによって子どもたちの個性が育まれ、様々なジャンルのスターが生まれて、いつか「MEIJIN」という言葉が世界共通言語になってくれたら嬉しいです。



<https://amchannel.top/>



(株)セガトイズ 企画本部プロモーション部
(下段右)東方 嘉基 (Toho, Yoshiki)
(上段中央)戸井田 怜鷹杜 (Toida, Reoto)
コーポレート本部総務部
(上段左)山田 重雄 (Yamada, Shigeo)
(下段左)伊藤 ゆき (Ito, Yuki)
(下段中央)野田 哲郎 (Noda, Tetsuro)
コーポレート本部
(上段右)矢島 源一郎 (Yajima, Genichiro)



SDGs

LGBTs

LGBTsドキュメンタリー映画上映&
トークセッション実施



女優の東ちづるさんをお招きして、LGBTsドキュメンタリー映画の上映と里見治紀社長とのトークセッションを実施しました。

60名の社員が参加し、生きづらさを感じながらも「自分らしく生きる」ことを模索し続けるセクシャルマイノリティの当事者たちの声に耳を傾けることで、誤解、勘違い、思い込み、偏見、差別などの見えない障がいを知り、理解を深める機会となりました。

ダイバーシティの理解促進プログラム「SDGs×LGBTs」

SDGs取組みテーマ(関連するSDGs)

働きがい・多様性の向上と不平等の排除



ジェンダー平等を実現しよう



働きがいも経済成長も



人や国の不平等をなくそう

プログラム

1. 映画上映

女優 東ちづるさんが企画・インタビュー・プロデュースの記録映画「私はワタシ over the rainbow」

LGBTsなどセクシャルマイノリティの方50名以上のへのインタビューを収めたドキュメンタリー映画

監督：増田玄樹、プロデューサー：東ちづる、制作：一般社団法人Get in touch

2. 東ちづるさんと里見社長によるトークセッション

3. 東ちづるさんと意見交換会

受講者コメント

- LGBTだけでなく、マイノリティ全体が網羅されている会だったことは良かったです。
- 「知らない」ということが他人を傷つけたりすること、個人という人格を「理解する」ということが大切だということを教わりました。
- 当事者の身近にいる人も生きづらさを感じることがあります。それは無知だからではなく、まだまだ知る機会が少なく、受け入れるより先に先入観を抱いてしまうからだと思います。リラックスしながら知ることができる機会は貴重だと思うので、全員が視聴した方がいいなと思いました。
- 参加したことでこれまでより確実に「多様性」について寛容になった気がします。
- もし自分がたまたま男性を好きになったら、LGBT。もし、自分や家族が明日交通事故にあって障がいを持つことになったら障がい者。そうであっても働ける会社・社会にしたい、との東さんや里見社長の自分事としての言葉やすべての人が何らかのマイノリティという言葉に納得感がありました。
- ネットで検索して知り得る情報は知識でしかないの、映画のインタビューで生の声を聞いたことで、LGBTsについてより理解を深めることができました。
- 里見社長が具体的な施策について力を入れており、多様性を認めるメッセージは、大きな信頼感、安心につながるのだと思いました。



東 ちづるさんコメント

SDGsバッジをスーツの襟に輝かせている会社員の方をよく見かけようになりました。ですが実際は、いまだ取り組めてないという会社も少なくありません。企業の率先は大きな意味があります。「私はワタシ over the rainbow」上映&トークのLGBTs研修は、まさに人権と企業を考える会でした。御社の活動が、社内はもちろん、他社や社会に大いに刺激を与え、誰も排除しない「まぜこぜの社会」の扉が開くことを期待しています。



TOPIC

東京レインボープライド2020

オンライン「#おうちでプライド」

セガサミーグループは、SDGsの実現を通じて多くの個性が活躍できる社会の実現を目指しダイバーシティを推進しています。その一環としてLGBTをはじめとするセクシャル・マイノリティの存在を社会に広め、「性」と「生」の多様性を祝福する東京レインボープライドに2019年より協賛しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2020年4月25日～5月6日に予定されていた「東京レインボープライド2020」は開催中止になりましたが、同時期に行われた「TRP2020オンライン「#おうちでプライド」」に参加。のべ約44万人が視聴したオンライントークライブ&パレードではセガサミーグループの動画が放映されたほか、多くのグループ社員がSNSを通じて世界中に発信しました。



人財の育成と評価

人事制度

E セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、社員の長期的なキャリア形成とプロ意識の向上のため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と知識や技術を活かしていく「プロフェSSIONAL職」のコース選択を可能にしています。また、定期的に「従業員満足度調査」を実施し、社員の課題認識や期待値・不満度などを確認の上、モチベーションの向上に向けた各種人事施策へと展開しています。

育成環境面では、新入社員一人ひとりに対して公私両面のサポートを専任で行う「コーチ制度」を設けているほか、「新入社員フォロー研修」「2年目研修」など、若手社員の成長を支援する教育体系が整備されています。

評価・報酬面では成果や行動発揮に加えて時間生産性を考慮した評価／インセンティブを導入し、生産性の高い働き方を実現した社員に報いる取り組みを進めています。

遊 社員全員がプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、「マネジメントコース」と「プロフェSSIONALコース」の自己選択型の制度を整備しています。社員一人ひとりに求められる役割を明確化し、また成果貢献に応じた適正な処遇により社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。

また、人財育成については階層別研修に加えて、管理職に対する能力開発機会の提供を充実させマネジメント力の向上や公平な評価の実現についても強化を図っています。社内表彰制度では、2019年度の「社長賞」は10案件・55名が、社員のチャレンジをより奨励するための「積極進取賞」では9案件・47名が表彰されました。さらには、積極進取の精神でアイデアを会社へ提案する制度『やっちゃえG30』を2016年より発足させ、これまでの約500件の提案があり、うち63件が具体的な施策として実現しています。そのほか、社員満足度調査や、将来的にチャレンジしたい仕事の自己申告制度など、様々な施策を展開しています。

※ 社内表彰制度について2019年度分は新型コロナウイルス感染症の影響により、現状決まっています。

人財育成

● SEGASAMMY Collegeにおけるオンライン研修の取り組み

セガサミーグループの横断的人財育成機関『SEGASAMMY College』では、年間4,000名以上の方々が様々な講座で学びを修めています。

学びのスタイルは講堂での集合研修に留まらず、「遠くても学べる」をコンセプトに、階層別研修“Leadership Program”や希望者向け研修“道場”をオンライン化し、eラーニング型、リアルタイムセッション型、ハイブリッド型を用意して、海外も含めた全国のグループ社員の学びを後押ししています。

2020年4月に行われたグループ新入社員研修は、緊急事態宣言により集合研修が実施できなくなりましたが、こちらもオンライン型に切り替えながら、単にインプットするだけではなく、自ら探す、仲間と深める、セガサミーの感動体験と向き合うを軸としたプログラムにて16日間にわたる研修を実施しました。

SEGASAMMY Collegeは、これからも時代のニーズに合わせて Game Changer＝革新者としての学びの場を提供していきます。

■ SEGASAMMY Collegeの体系図

	階層別研修	選抜型研修	希望型研修
経営層		経営塾(社外修行) ・ 知命社中4期 ・ 経済同友会 ジュニアリーダーシップ・プログラム ・ ベンチャー出向1期 リーダーシッププログラム 里見塾 里見塾4期	
マネジメント層	リーダーシッププログラム Managers 階層別研修1期(本研修)	リーダーシッププログラム 治紀塾 治紀塾1期	手上げ式道場 モチベーションUP・ポータブルスキル・資格取得等
一般	階層別研修2期(事前必修道場) I. (必修) 経営戦略・マーケティング・アカウントティング・課題設定力 II. (推奨) ファイナンス・人的資源管理・コーチング・エンパワメント等 リーダーシッププログラム Leading Players 階層別研修1期(本研修) 階層別研修2期(事前必修道場) I. (必修) 論理思考力・問題解決力・コミュニケーション力 II. (推奨) ファシリテーション・交渉力・質問力等		
新入社員	新入社員研修 セガサミーの歩き方(理念・行動様式)		

■ のべ受講者数実績 (2019年度)

	研修名	参加人数(名)
選抜型研修	知命社中4期 15 DAYS	2
	経済同友会 ジュニア・リーダーシップ・プログラム 15 DAYS	1
	里見塾4期 10 DAYS	16
	治紀塾1期 9 DAYS	12
	ベンチャー出向1期	2
階層別研修	階層別研修1期(本研修)	276
	階層別研修2期(事前必修道場)	1,413
	グループ新入社員研修	212
希望型研修	手上げ式道場(47講座) (うち、社内講師による講座は7講座)	2,464
参加者人数合計		4,398

※ 受講者数実績は2019年4月～2020年3月までの1年間の数値です。



オンラインで行われた新入社員研修

多様性の推進

女性活躍推進

E 女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備して企業の成長につなげるため、行動計画を策定して目標達成に向けて取り組んでいます。

セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブでは、2016年から2020年までの4年間で計画期間として、新卒採用における応募者の女性割合を30%以上とする目標を掲げ、性別にとらわれない公正な選考に向けたガイドラインの策定や、大学などと連携した女子学生向けセミナーを実施しています。また、社員の育児休業後の復職定着率100%の実現を目標とし、休業中の方への情報提供や、子が3歳になるまでは育児短時間勤務であってもフルタイムと同様の給与を支給する福利厚生などを取り入れています。また、2019年より育児短時間勤務者にもフレックスタイム制度を適用しています。

遊 育児休業中の社員に対するキャリアと育児の両立支援を目的に、休業中のキャリアブランクを無くすための能力開発機会としてeラーニングを導入したり、会社の状況を把握できるようコミュニケーションツールの導入を行っています。また、女性社員が求めるキャリア開発施策について、自らが考え、よりニーズに合った施策を導入するために、女性社員による検討プロジェクトチームを立ち上げて活動を行い、女性のキャリアに関する講演会の実施、女性社員の交流会開催、メンター制度導入、管理職向け研修の実施などの取り組みを行っています。

人権の尊重

ハラスメント撲滅への取り組み

E セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、すべての社員が気持ち良く働き、最大のパフォーマンスを発揮できるよう、ハラスメントの防止に注力しています。社内研修やイントラネット上で気軽にできるミニテスト、ケーススタディを利用し、ハラスメントに関する理解の徹底を図っています。また、役員および社員(受入出向者、アルバイト、派遣社員を含む)が不安や悩みを相談できる窓口を、相談内容によって選べるよう社内外に複数設置しています。

働きやすい職場環境の整備

ワークライフバランスの推進

E グループとして取り組んでいる「働き方改革」の一環として、セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブの3社に、2017年7月より「フレックスタイム制度」を導入しました。社員一人ひとりの時間管理意識を高め、労働生産性の向上およびワークライフバランスの充実を目指しています。また、2018年7月より一部の副業を認める「J〇B+(ジョブプラス)制度」、2019年2月よりLGBTsの社員に向けた支援制度を導入し、多様性を尊重した取り組みを進めています。さらに、セガホールディングスでは2019年4月より、セガゲームス、セガインタラクティブでは同年10月より自宅などオフィス以外の

場所で働くことを認める「在宅勤務制度」を導入しました。介護・育児・看護などの様々な諸事情と、仕事の両立の一助となる本制度により、安心して働ける環境を整備しています。

遊

フレックスタイム制度、2018年4月から正式導入した在宅勤務制度、育児、介護等の事情を抱えた方向けに短時間勤務者のフレックスタイム制度などを導入しています。また、JOB+制度の導入により、本業(サミーでの仕事)だけでなく、自身の経験値アップや自己実現ができる環境を整えています。

労働安全への取り組み

E

社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。また、現場で発生する事故に対して、常に予防または改善することを徹底し事故件数をゼロにするための取り組みを進めています。万が一、現場で事故が発生した場合には、直ちに原因追究をするとともに、改善を行い再発防止に努めています。

遊

サミー川越工場では、社員自らが身の周りにひそむ危険要因をチェックし、都度改善する「6S*パトロール」活動や、さらにセキュリティと節電の2つのSの観点を加えた「8Sパトロール」活動を行うなど、社員の健康と安全を守ることに力を注いでいます。2019年度は、工場独自に作成した「安全・衛生基準」に対して、安全衛生委員会活動を通じ、内容の見直しを行いました。日々の生産活動を振り返り、現場の実情に即した基準(ガイドライン)へ昇華させています。

※ 6S：整理・整頓・清掃・清潔・躰・セーフティー

健康管理

遊

E

大崎にグループ会社が集約したのを機に、セガホールディングスの健康管理センターとサミーの医務室を統合し、セガサミーホールディングスの健康管理センターを設置しました。産業保健スタッフが4名常駐し、勤務中いつでも相談できる体制を整え、より専門的な相談には内科、精神科の医師が交代で勤務することにより対応しています。

各社で実施しているインフルエンザの集団予防接種やストレスチェック、課題となっている風疹対策についても今後、グループ全体での取り組み方法を検討していく予定です。

フレックスタイム制度の導入で長時間労働面談対象者は減少しているものの、該当者に対しては問診票を配布し、健康状態を確認するとともに、所属長への労働時間管理の徹底、および休暇取得促進などを実施することで、グループ社員が健康でワークライフバランスのとれた生活ができるようにバックアップしています。

E

安全衛生委員会は大崎勤務者が共通認識を持てるよう、セガサミーホールディングスを中心にグループ会社合同で毎月実施しています。そして、議事録や関連情報は各社内イントラネットに掲載し、社員への周知・注意喚起に努めています。

定期健康診断は実施率100%を目指し、巡回健診の継続、人間ドック受診料の補助などの支援を続け、安全衛生の観点から会社独自の基準を設け、健康管理面談を実施し、未病の改善、生活習慣病の予防に努めています。

遊

サミーでは2019年9月から11月にかけて、社員の健康増進に向けた取り組みとして、運動不足解消や禁煙に関する社内イベントを行っており、約400名が参加しています。

TOPIC

グループ企業の開発者による交流(勉強会)

本社移転後の取り組みとして、セガをはじめ、グループ会社との交流も積極的に行っています。

セガ主催で「セガ デベロッパーズカンファレンス」という技術カンファレンス、アーケード部隊が実施している「GITEN」と呼ばれる社内のみの技術基礎研究発表会、AI共有会、自動化共有会、Game Jamなどをグループを挙げて実施しています。

今後、グループ会社間の人材の交流を積極的に進めて、これからますます総合力を発揮するために取り組んでいきます。

	セガ主催の開発技術交流会に、サミーの開発部門が発表者で参加
	アミューズメント機器部門主催 グループ間の開発部門交流会を実施
	サミーの主催するAI技術に関する交流会(セガゲームス、サミーネットワークスなど)
	セガ主催、自動化技術に関する月例の情報共有会
	2日間で自らのゲームを作る セガ主催のイベント



CSR研修

2013年度から、グループ企業の社員に向けてCSR研修を実施しています。2019年度は21回開催し、761名が受講。通算148回開催し、グループ13社の4,090名が受講しました。「社会と企業の共生」「セガサミーグループのCSR活動」という2つのテーマについて、講義やグループワークを通じて理解を深めるとともに、セガサミーグループの一員としての社会とのかかわり方について考える機会を創出しています。

2019年度の開催実績

企業名	回数(回)	参加者数(名)
SSGE	1	64
6社合同(SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC)	5	242
5社合同(SSHD、SHD、SAMMY、SGC、SIC)	2	45
11社合同(SHD、SAMMY、ATLUS、DL、SE、SGC、SIC、SLS、SNW、TMS、TOYS)	4	172
6社合同(F55SSHD、SHD、SAMMY、ATLUS、SGC、SIC)	5	190
PSR	3	48
セガサミー野球部	1	30
2019年度計	21	791
2013年度からの総計	148	4,090

CSR研修プログラム※1

- 14:00 開会、研修趣旨説明
- 14:15 講義①「社会と企業の共生」
講義②「セガサミーグループCSR活動」
- 15:15 休憩
- 15:25 グループワーク①(ワールドカフェ※2)
- 16:45 グループワーク②(ワールドカフェ※2)
- 17:20 発表
- 17:45 「私のCSR宣言」、「受講アンケート記入」
- 18:00 閉会

※1 対象によって一部内容が異なります。

※2 カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中で4～5名で対話すること。

研修の様子と受講後アンケート

- CSR研修では、まず講義で「社会と企業の共生」「セガサミーグループのCSR活動」について理解を深めます。
- その後ブレインストーミングや討論によるグループワークを通じて、互いの意見や社会課題解決へのアイデアを共有しています。
- グループ間交流もできるため、研修受講後のアンケートでは、86%以上の方が「役に立った(楽しかった)」と回答しています。また、受講者の89%がCSRの重要性について理解を示し、90%以上の方が、CSRの取り組みと企業の持続可能性について関連が大きいと考えています。



受講者コメント

- SDGsのことがあまり理解していなくて、この研修で理解できた。視野が広がった(普段とは違う視点で見られた)。
- 自分が成長するため、会社が成長するためにCSR活動は不可欠だということが分かった。“価値”を見出せるように頑張りたい。
- 野球部でできる社会貢献があれば、地域や社員の方との交流をしてみたいと思いました。
- CSRの活動によって、企業価値は高められていく。野球部として、会社への一体感、団結力、そして、宣伝効果として頑張ってやっていきたい。
- 勝つことはもちろんだが、それ以上に大切なものがあるということを忘れず、今後もCSR活動に取り組んでいきたいと思った。
- 業務のスキル向上だけでなく、社会人としての人間力を向上させていく必要性を感じた。
- 日本の企業が長く続くことはCSRを大切にしているからだと分かった。
- 日々の仕事から、会社、社会に貢献していることを意識しながら仕事をしていきたいです。
- 他部署の方とのコミュニケーションの場もあり、楽しかったです。
- ボランティアとか具体的な活動だけをイメージしていたが、そうでない部分もあり、企業にとって非常に大事な活動ということを再認識できて良かった。
- メンバーによって内容に差はありましたが、ワールドカフェの参加自体が初めてだったので楽しめた。
- CSR活動にも「守り」「攻め」があることを知らなかったが、よく理解できた。
- 一見、社会問題とは無縁と思われるエンタメ企業も「明日への活力」の提供という形で社会貢献ができるという考え方はとても素敵だった。
- 「ワールドカフェ」では普段接点がない方々と沢山お話できたことがとても良かった。
- 講義の内容は、グループの良い面が分かり、とても参考になったこと、誇らしく思うきっかけになったことが、仕事へのモチベーションにもつながった。

人事・労務に関するデータ

対象範囲・集計方法

- 2017年度および2018年度：国内15社、海外2社（社員構成のみ）、2019年度：国内13社、海外2社（社員構成のみ）
- ※ 2019年度のカバー率：売上比率約【9】割以上、正規雇用人数比約【7】割以上
- 国内：SSHD、SHD、SAMMY、BTF、DL、PSR、SE、SGC、SIC、SLS、SNW、TMS、TOYS
- 海外：SOA (Sega of America, Inc.) / SOE (Sega Europe Ltd.)
- 社員構成、障がい者雇用、管理職・役員構成は2020年3月末時点の数値です。

※ 略称は、P.2参照

● 社員構成

	2019(国内13社)			2019(海外2社)		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
社員数(名)	11,181	7,621	3,560	465	266	199
正規雇用	6,324	5,076	1,248	465	266	199
非正規雇用*	4,857	2,545	2,312	—	—	—
社員数うち外国籍	80	54	26	—	—	—
平均年齢(歳)	40.3	41.1	37.3	—	—	—
平均勤続年数(年)	12.6	13.2	10.1	—	—	—

● 障がい者雇用

	2017	2018	2019
雇用人数(名)	205	212	211
雇用率(%)	2.12	2.14	2.05

● 管理職・役員構成

	2017	2018	2019
女性管理職者数(名)	81	102	86
女性管理職比率(%)	5.0	6.6	6.4

2019年度の内訳

	合計	専門職級	課長職級	部長職級	執行役員級	役員級
役職者別人数(名)	1,337	357	634	223	45	78
男性	1,251	326	590	216	43	76
女性	86	31	44	7	2	2
女性比率(%)	6.4	8.7	6.9	3.1	4.4	2.6

※ 2018年度より役職者に専門職を含めています。

● 採用

	2017			2018			2019		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
新卒採用者数(名)	139	86	53	135	84	51	201	126	75
新入社員離職率(%) (入社3年後)	20.4	16.4	28.1	15.7	5.3	31.4	22.6	10.8	40.7
中途採用者数(名)	226	169	57	224	133	91	193	131	62
定年後再雇用者数(名)	43	40	3	57	50	7	60	54	6

● 労働安全衛生

	2019
労働災害発生件数(件)*	18

※ 労働災害発生件数＝休業災害(4日以上)の件数を集計しています。

● 両立支援制度利用実績

	2017			2018			2019		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
産前・産後休業取得者数(名)	55	—	55	66	—	66	70	—	70
育児休業取得者数(名)	95	21	74	130	24	106	136	40	96
育児休業復職者数(名)	56	20	36	82	22	60	73	39	34
育児休業復職率(%)	—	100	98.6	96.5	100	95.2	93.6	100	87.2

● ワークライフバランス

	2017	2018	2019
月平均時間外労働時間(時間)	21.9	19.7	19.4
有給休暇取得日数(日)	11.5	12.5	14.0
一般社員	12.2	13.1	14.6
管理職	9.3	10.5	12.0
有給休暇取得率(%)	63.7	69.5	75.6
一般社員	69.4	75.1	80.9
管理職	48.0	54.5	61.0
年間休日	124.1	125.8	128.0
ボランティア休暇のべ取得人数(名)	46	42	16
ボランティア休暇のべ取得日数(日)	70	101	18

注記

■ 平均残業時間

「働き方改革」を推進しており、2017年度より裁量労働対象者についても可能な限り、在社時間等で残業時間に含めています。

■ 有給休暇取得率

年間の有給休暇取得日数を年間の法定有給休暇付与日数で除して算出しています。なお、2017年度より管理職と一般職に分けて開示しています。一部グループ企業で採用している法定外有給休暇も加味しています。

■ 年間休日

対象会社の年間休日を正社員の人数比で加重平均しています。

● 両立支援制度の例

育児

制度	SSHD、SHD、サミー等
育児休業制度	子が2歳に達した日以降も保育所に入所できない場合は、その後初めて到来する4月の保育所入所日まで
短時間勤務	小学就学まで、1日につき退勤時間を最長2時間短縮可 小学3年生まで、1日につき退勤時間を最長1時間短縮可

介護

制度	SSHD、セガHD、サミー等
介護休業制度	1名につき93営業日まで取得可(介護短時間勤務含む)
介護短時間勤務	93営業日以内で、1日につき最長2時間取得可
介護休暇	積立年休の保有日数を限度とし、長期介護休暇を取得可

株主・投資家にも



グループCSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指してまいります。そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示をとおし、透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

グループ行動規範

「透明性の高い経営」「双方向コミュニケーション」

- (1) 法令その他のルールに則り、会社情報を適正かつ公正に開示し、経営の透明性の確保に努めます。
- (2) 株主の声に積極的に耳を傾け、双方向性のある対話型コミュニケーションに努めます。

「積極的かつ公平な開示姿勢」

- (3) 投資家の理解に資する会社情報の積極的な開示に努めます。
- (4) 全ての投資家と公平に接し、会社情報の偏在防止に努めます。

「適正な利益還元」「企業価値の最大化」「持続性」

- (5) 効率的な資産運用と、適正な利益還元を行います。
- (6) 世界の情勢や動向に常に目を配り、社会の期待に応えながら、企業価値の最大化と継続的な成長を目指します。

「インサイダー取引」

- (7) インサイダー取引に関する法令^{*}・社内規程・ルールを遵守し、未公表の重要事実を厳格に取り扱います。

^{*} 金融商品取引法第166条等をいう。

企業価値向上は丁寧なコミュニケーションから

VOICE



SEGASammy
HOLDINGS

セガサミーホールディングス(株)
財務経理本部 IR部

清水 みや子 (Shimizu, Miyako)

四半期ごとの決算発表をはじめとするコミュニケーションの場において、有益な情報公開や活発な意見交換ができるよう、きめ細やかで誠実な対応を心掛けて活動しています。

株主・投資家の皆さまの信頼を得るためには、前述のような情報発信・共有と同時に、いただいたご意見に謙虚に耳を傾け、適切に対応することも重要です。ご意見のポイントをしっかり捉え、分析し、社内へフィードバックすることも、経営に対する判断材料を提供するための必要な役割だと考えています。

また、決算発表会の社内配信など、社員の皆さまに「知る機会」を提供することで、社員一人ひとりが株主・投資家の皆さまの存在をより身近に感じられるような環境整備も継続的に行っていきます。

これからも様々なかたちで質の高いコミュニケーション機会を創出し、セガサミーグループの企業価値向上につなげていければと思います。



株主・投資家への情報開示

IRポリシー

セガサミーホールディングスは、「IRポリシー」に基づき、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動などの情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えうるものは積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社WEBサイトでも開示しています。



セガサミーグループIRポリシー

https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/ir_policy/

株主・投資家とのコミュニケーション

安心・安全な株主総会の実施

2020年6月の株主総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、株主の皆さまには可能な限り当日のご出席をお控えいただき、郵送またはインターネットにより議決権をご行使いただきますようお願いし、多くの株主の皆さまにご協力をいただきました。

また、株主総会への来場をお控えいただくにあたり、インターネットによるライブ配信を行い、株主の皆さまに閲覧いただきました。

IR活動

国内外における投資家向け説明会などの実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお応えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。また、国内外の機関投資家や証券アナリスト向け決算説明会を本決算時に開催し、四半期決算に関しては電話会議による説明会を実施しています。当社事業への理解を深めていただくため、証券アナリスト向けの施設見学会や勉強会なども行っています。個人投資家の皆さまと積極的にコミュニケーションを図るために、個人投資家向けイベントなどにも参加しています。



個人投資家向け説明会

IR活動実績(回)

	2018年度	2019年度
決算説明会(四半期毎、電話会議を含む)	4	4
スモールミーティング	2	2
個別ミーティング(国内)	128	152
個別ミーティング(海外)	169	159
事業セグメント別説明会(施設見学会を含む)	3	0
海外ロードショー(カンファレンスを含む)	5(北米1、アジア2、欧州2)	5(北米2、アジア2、欧州1)
国内カンファレンス	4	4
個人投資家イベント	1	1

IR活動に対する外部評価

2019年度にセガサミーグループのIR活動が第三者機関から表彰されたものは下記の通りです。

- 2019年度 全上場企業ホームページ 充実度ランキング
総合表彰、業種別表彰(機械) 最優秀サイト
日興アイ・アール株式会社
- Gomez IRサイト総合ランキング2019 金賞受賞
モーニングスター株式会社

- 2019年インターネットIR表彰 優良賞受賞
大和インベスター・リレーションズ株式会社



統合レポート

https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing_annual/

適正な利益還元

利益配分に関する基本方針

セガサミーホールディングスは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。安定的な配当を実現すべく、配当は中間および期末の年2回とし、2019年度は、中間配当は1株あたり20円、期末配当は1株あたり20円を実施しました。

株主優待拡充のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社のサービスを体験していただくことを目的に、2018年2月より株主優待制度を導入しています。また、皆さまからのご意見を参考に、株主優待を拡充しています。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2019年6月にお送りした、2020年6月末日をご利用期限とするすべての株主優待について、利用期限を6ヶ月間延長しています。



配当実績及び株主優待制度

<http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/stock/share/>

社会とともに環境



グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

グループ行動規範

「地球環境」

- (1) 資材調達から製造・流通・使用・リサイクル・廃棄まで、商品のライフサイクル全般にわたり地球環境への影響を考慮します。
- (2) 地球環境の保護のために、関係法令および各種規制を遵守するだけでなく、積極的かつ自主的な取り組みを検討・実行するよう努めます。
- (3) 地球環境に対する意識が高く、公私ともに省資源・省エネルギーに努める人材を育成します。

VOICE



フェニックスリゾート(株)
コーポレート本部 エンジニアリング部
(左)黒木 隆幸 (Kuroki, Takayuki)

令和元年度「宮崎県温室効果ガス排出抑制事業者」表彰

温室効果ガスの抑制には、電気やガスなどのエネルギーを効率的に使用する“省エネ”が必要です。フェニックスリゾートは1993年の開業当初から省エネルギーに取り組み、2019年、他事業者の模範となる特に優れた取り組みを行なった「宮崎県温室効果ガス排出抑制事業者」として表彰されました。

省エネは単にエネルギー効率の良い設備を取り入れるだけでなく、その設備をどこに設置すべきかを見極め、運用後のチェック・改善を重ねて取り組みの効果を最大限に引き出すことが重要です。また、施設をご利用いただくお客さま・働くスタッフの空間・環境の質を損なわずに省エネルギーを推進することを心掛けています。

これからも、お客さまと環境に対し何かできることはないかを常に考えながら行動し、快適なリゾートステイと省エネルギーとが両立する施設であり続けたいと思っています。

コンベンションセンターのロビー。
照明を調節し、シーガイアらしい空間を
損なうことなく、省エネルギー推進を行っています。



■ 取り組み内容

- ・ 毎日のエネルギー使用量をグラフ化し、前年同月、同日と比較
- ・ 晴天時と雨天・夜間時の照明点灯パターンを操作パネル横に明示、効率的な照明の点灯
- ・ 月に1回程度、社内会議でエネルギー使用量の報告
- ・ エネルギーマネジメントシステム(EMS)を導入することで、エネルギーを見える化
- ・ 冷房用熱源機器や空調設備など高効率機器への更新
- ・ LED照明機器への更新

グリーン電力証書システムの導入



E 2005年4月より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書(マイクロ水力、バイオマス)」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置している風力発電機(ハマウィング)を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」として協賛しています。2019年度の実績は168,184kWhでした。



日本自然エネルギー株式会社
http://www.natural-e.co.jp/



日本自然エネルギー株式会社が風力・バイオマス・小水力などによるグリーン電力(自然エネルギー)の利用を証するマーク。

製品の環境配慮設計



E メダルゲーム機の「パベルのメダルタワー」「レッ釣りGO!」において、従来製品「アラビアンジュエル」の消費電力と比較して47～55%削減するなど、省電力化への取り組みを継続しています。

これらアミューズメント機器は、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にし、「けものフレンズ3 プラネットツアーズ」では他タイトル中古筐体をリフレッシュして転用、また、StarHorse4ではStarHorse3のメインモニターを流用し、サテライトも改造でのゲーム継続も可能にするなど廃棄物抑制に努めています。

また、整備・点検手順をマニュアル化して店舗で共有し、製品の長寿命化につなげています。アミューズメント施設では、日常整備の徹底などで機器の長寿命化を図っています。

セガ・ロジスティクスサービスでは、処理コスト低減と不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開しています。使用済み中古機器の保管管理をセガ・ロジスティクスサービスが担当し、優良中古機器はリユース販売へ、不要機器は補修用途のリユース部品化や産廃処理の工程へ進めます。同社が千葉県の実業所に招致する産業廃棄物中間処分業者では、機器の素材別手分解を行い、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」の100%リサイクルを実施。アミューズメント機用の不要カードや用紙類、一部廃プラスチックは、代替燃料であるRPF(Refuse Paper & Plastic Fuel)となり、サーマルリサイクルにて熱回収されています。



代替燃料RPF

遊

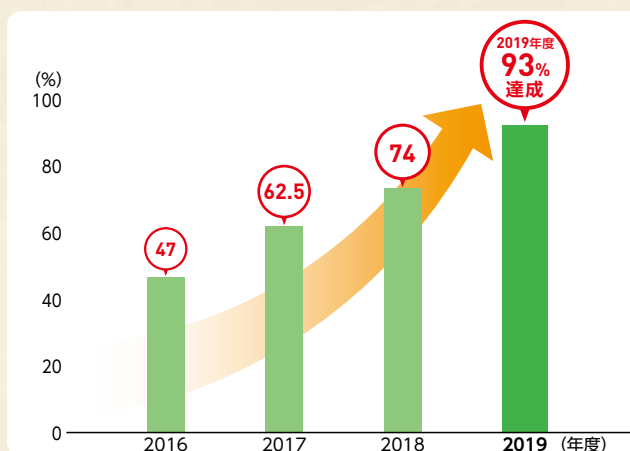
遊技機を構成している部品のリユース性を高めるため、設計・開発段階より部品・基板・ユニットの共通化を図り、2016年にリユースできる部品点数の目標値を定め、2018年度にどちらの目標値もクリアしました。2019年度はリユース効率と品質向上に向け、ぱちんこの盤面を構成する一部のユニットやパチスロの液晶・リール周辺のユニットを部品レベルまで細分解せず、ユニット単位の状態でのリユース化しています。

また環境配慮の観点から、中古遊技機の回収施策において従来の下取り条件の見直しと買取り施策により、2019年度の回収率は93%でした。

業界内においては、他メーカーと連携し、部品・ユニットのプラットフォーム化を図り、業界全体での環境負荷低減に向けた取り組みを継続しています。

環境への配慮として、ほぼすべての遊技機で待機中のLED(装飾部など)の明るさを抑えるなどの消費電力を抑制するエコ機能を搭載しており、導入を開始した2014年度以前の機種に比べて消費電力の5%の削減につなげています。また、お客さまご自身で音量や明るさを調節できる機能を追加。使用する部品においても高寿命、高効率な部品を使用し、ライフサイクル全般を意識した設計を行っています。このほか、ぱちんこ・パチスロにおいて鉛フリーはんだ部品使用率100%を達成しています。日本遊技機工業組合や日本電動式遊技機工業協同組合が、業界レベルで環境負荷物質の使用状況の把握と低減を目指す試みにも参加し、情報を共有しています。

● 中古遊技機の回収率



● 遊技機のリユース部品点数

	2018年度実績	2019年度実績	目標値*
ぱちんこ	約30	約40	15以上
パチスロ	約80	約80	50以上

※ 2016年度に設定

セガの森

E セガホールディングスでは、長野県が仲介役となって進める「森林(もり)の里親促進事業」の趣旨に賛同し、2008年4月より長野県南佐久郡南相木村と「森林(もり)の里親契約」を締結しています。その対象となる民有林約3,633ヘクタール(東京ドーム約773個に相当)を「セガの森」と名付け、CO₂吸収源となる森林の整備資金を一部提供することで地球環境保護に取り組んでいます。その整備によって、2019年度のCO₂吸収量は267.9t-CO₂でした。

また、地元の方々のご協力のもと、社員の地球環境保護に対する意識醸成の場としても活躍しています。2018年1月には、これまでの10年にわたる森林整備や地域交流などの功績が認められ、長野県森林づくり県民税活用の部にて長野県知事賞を受賞しました。

自然学習

自然を大切にする気持ちが次世代へと語り継がれていくことを願い、セガサミーグループ社員とその家族と一緒に体験できる、下草刈りや農作物の収穫、魚つかみなど、毎年趣向を凝らした自然学習イベントを夏に行っています。



「セガの森」が誕生した、2008年から設置しているアドプトサイン(森林が「セガの森」であることを表す看板)。南相木小学校の生徒の皆さまが、「自然と共に育む未来」をテーマに絵を描いてくださいました。



南相木村は総面積の8割程度を山林原野が占め、その谷間を縫うように川が流れる自然豊かな村です。

● 南相木村WEBサイト : <http://www.minamiaiki.jp/>

森林整備

日常的に「セガの森」を守り、育んでくださっている村民の皆さまにご指導いただき、森林整備の大切さや大変さを身をもって学ぶ機会として、間伐や植林などの森林整備体験を毎年秋に実施しています。



地域との交流

村民の皆さまから、「南相木村の歴史」「山歩きのコツ」「美味しい作物を育てる大変さ」などの様々なお話を通して、都会の日常では感じ取れない自然の厳しさや大切さを教わっています。



参加者の声

魚の調理、畑仕事、ブルーベリー摘みなど、家族旅行ではなかなか手が出ないような経験ができたのが良かったです。

子ども連れで初のキャンプでしたが、村の皆さまやスタッフの皆さんのおかげで夏の良い思い出ができました。

南相木村の皆さまと一緒させていただいた時間を通して新たにふるさとができた気分になれる、村との交流という点でも大変貴重な体験をさせていただきました。

バーベキュー→温泉→花火の流れはまさに夏休み！という感じで大人も存分に楽しめました。

セガ ヨーロッパがPCパッケージ商品を100%リサイクル可能な梱包材に切り替え

E セガ ヨーロッパは今後発売する、PCパッケージ商品の梱包材を完全にリサイクル可能な素材のみに切り替える取り組みを開始しました。より環境にやさしいPCゲームパッケージへの切り替えの動きは、スポーツインタラクティブ社とセガ ヨーロッパが共有する「地球温暖化対策にプラスチックの代替品を探し出すことで貢献できないか」という願いが原動力となっています。

パッケージとマニュアルには100%リサイクル再生紙を使用し、完全にリサイクルが可能な製品を採用しました。また印刷にはすべて水と植物性のインクを使用しています。ディスクについては、専門業者によってリサイクルが可能となっています。



Top Message

セガ ヨーロッパ社長兼COO Gary Dale

セガ ヨーロッパでは「プラスチックゴミを削減し、環境にやさしいビジネスを実施する」というコミットメントを掲げています。

我々の想定では「Football Manager 2020」のタイトルだけで20トン近いプラスチック素材の軽減になります。今後すべてのPCタイトルにリサイクル可能な梱包材を適用することで、さらに大幅なプラスチックの削減になる見込みです。

エンタテインメント業界が一体となり映画、ゲーム、音楽など多岐にわたる分野で製品包装の代替の模索をすることで、プラスチック包装と関連の環境コストや廃棄コストの大幅な低減実現できれば素晴らしいことだと思います。

廃プラスチック問題への対応

E ゲームセンターのプラスチック製景品袋削減に向け、各店舗がそれぞれの地域・施設の基準に従って適切な分別を行い、産業廃棄物処理業者と契約を締結して処理することに努めています。また、店舗規模別の景品袋使用量調査や素材別コスト比較を行い、素材変更への検討を始めています。

製品梱包についても、簡易化によるごみ削減はメーカーの責任との認識に立ち、出荷時の袋を再利用するなど、最低限の梱包にとどめています。

ゲームセンターの使用電力の削減に向けた取り組み

E 施設照明のLED化を進めるとともに、改装店舗を中心に空調設備の入れ替えに取り組んでいます。また、電気供給会社を統一し、各店舗が最適な電気使用量になるようモニタリングをしています。

シーガイア ビーチクリーンinーツ葉



R フェニックス・シーガイア・リゾートでは、宮崎県指定天然記念物である、アカウミガメおよびその産卵地の保護を目的とした海岸清掃活動「シーガイア ビーチクリーンinーツ葉」を2015年より実施しています。

毎年、地域住民の方やスポーツ少年団などから約100名の参加をいただき、産卵で陸地に向かうアカウミガメの障害となる、家庭ごみや流木などの回収を行っています。

清掃前にはNPO法人宮崎野生動物研究会会員で、宮崎市フェニックス自然動物園園長の出口 智久氏よりアカウミガメに関するお話をいただき、その生態を学ぶ場も設けています。

2020年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響もあり、地域の皆さまとの活動は中止していますが、これからも活動を継続する予定です。



毎年行われているビーチクリーン

環境に関するデータ

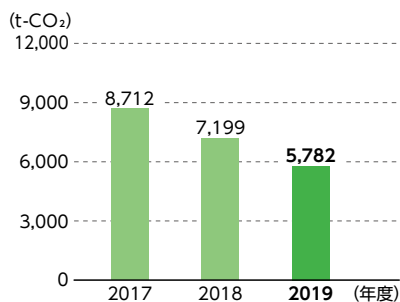
対象範囲

データ集計範囲 14社

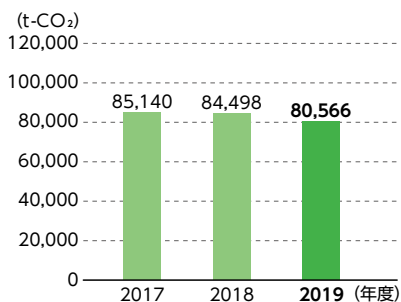
●SSHD/SHD/SAMMY/BTF/DL/ELEC/PSR/SE/SGC/ SIC /SLS/ SNW/TMS/TOYS

※ 略称は、P.2参照

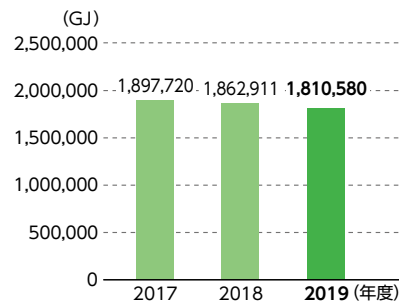
● CO₂排出量(スコープ1)



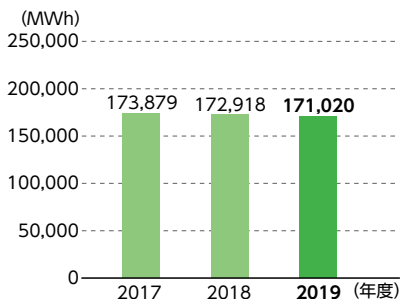
● CO₂排出量(スコープ2)



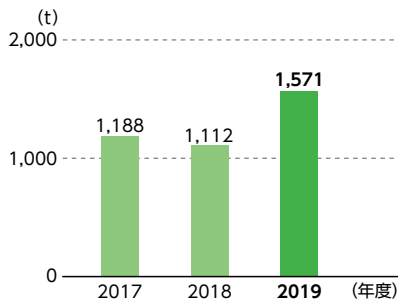
● 総エネルギー投入量



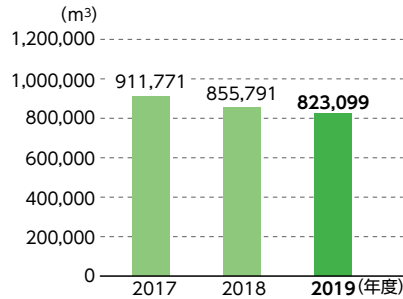
● 電力使用量



● 産業廃棄物排出量



● 水使用量



- ・集計データの一部延床面積による推計値を含みます。
- ・CO₂総排出量の減少は、燃料使用量及び電気使用量の削減が主要因です。
- ・購入電力のCO₂排出係数：各報告年度の前年度の電気事業者別の調整後排出係数を使用しています。

● 環境法令違反件数

2017年度	2018年度	2019年度
0	0	0

● サミー川越工場における環境配慮の状況

		2017年度	2018年度	2019年度	備考
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率 (%)	95.99	95.00	95.40	ぱちんこ・パチスロ合算
	木材使用量 (t)	566	370	215	
	うちPEFC認証木材*	38t(6.8%)	51t(13.8%)	7t(3.3%)	

- ・接着剤は、水系接着剤を含めて川越工場では使用していません。
- ※ PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム (Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes) により認証され、第三者機関より持続可能な森林管理の認証を受けた森林より適切に調達された木材です。PEFC認証木材が使用できる製品の生産量が減少したことにより、使用量が減少しました。



社会貢献
— SERVING SOCIETY —

社会とともに



グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

グループ行動規範

「本業の繁栄」

(1) お客さまに喜んでいただける商品・サービスの提供により本来の事業の繁栄を常に目指し、納税・雇用の創出により社会に貢献することを忘れません。

「社会への貢献」「寄付」

(2) 事業活動を通じて社会に貢献するのみならず、芸術・スポーツなどの文化の支援にも積極的かつ自主的に取り組み、豊かな社会の実現に貢献します。
(3) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、税法・商法・政治資金規正法等の関係法令に従って定められた社内ルールを遵守して、公正正大に行います。

「地域社会」

(4) 地域社会との連帯と協調を図り、地域に根ざす企業として積極的かつ自主的な交流に努めます。

VOICE 1 プログラミングを楽しみながら体験できるイベント・ワークショップを開催!

子どもたちの成長を
支援します!



(株)セガエンタテインメント
業態企画部 楽し場研究所

原田 桂輔

(Harada, Keisuke)

楽し場研究所では、「既存ゲームセンター以外の新しい感動体験ができる場」を提供するために、企画立案から活動を行っています。「セガラボ*」も、“小学校でプログラミングの授業が2020年から始まるなか、なにが面白いことはできないか?”というところから実験的にイベントがスタートし、現在、ショッピングセンターや小学校の公共施設などを中心に全国各地で活動を行い、6,000名以上の方々にご体験いただいています。セガラボのプログラミング体験を通じ、「もっと学びたい!」「もっとやってみたい!」と“楽しさ”を感じてもらえたら最高です!そして、我々のご提供するイベント

を通じて、子どもたちがもつ無限の可能性が少しでも広がることに貢献できたらと考えています。

今後は、プログラミングだけでなくセガサミーグループのコンテンツ・エンタメ力と学びを結び付け、世の中にもっと面白く、楽しいイベントを発信し、次世代の子どもたちへ支援を続けたいと考えています。

<https://sega-lab.com/>

SEGA LAB

セガ楽し場
研究所

立野小学校 放課後
キッズクラブ

内山 恒子

(Uchiyama, Tsuneko)



「プログラミング教室」は子どもにとって「学び&ワクワクドキドキ体験」ができる最高のイベントです。可愛いM-BOTを操作しながら自然とプログラミングとは何かを学び、目を輝かせながら自分のM-BOTと迷路で悩んだり考えたり喜んだり、最後のサッカー対決では勝っても負けても盛り上がり、みんなすごく良い顔をしていました。私達職員も学ぶことが多かったです。これからも子ども達のために「学び&体験」ができるプログラムをどんどんお願いします。



特定非営利
活動法人

Woodcraft

(ウッドクラフト) 横浜市

放課後キッズ

クラブ向けのプログラ

ミング体験でお世話になり

ました。M-BOT(エムボット)や

ドローンを使った楽しい内容で、

好奇心いっぱいの子供達は目を輝かせて取り組みました。保護者からは学校の授業に先駆けてのプログラミング体験ということもあり、大変喜ばれました。今後も刺激的で楽しいセガラボワークショップに期待しています。



森の台小学校 放課後
キッズクラブ

太田 由紀子

(Oota, Yukiko)

VOICE 2

元Jリーガーの経験を活かし、
アスリートと街をつなぎ、元気にする



(株)MPandC

野田 恭平
(Noda, Kyohei)



MPandCでは、スポーツ
による街(マチ)の活性化、
アスリートのセカンドキャリ
ア創出、子どもたちへの「ほ
んもの感動体験」を目的とし
たアスリートと街をつなぐ
『アスマッチプロジェクト』
をCSR活動として行ってい
ます。香川真司選手や内村
航平選手といった日本を代表

する多くのアスリートの方々が本プロジェクトに参同くださり、
全国各地のイベントと一緒に盛り上げてくれています。

また、MPandCでは、引退したアスリートがセカンドキャリア、
現役アスリートがデュアルキャリアとして活躍しており、私自身
もJリーガーとして東京ヴェルディなどでプレーしたアスリート
経験を活かし、ビジネスの舞台で日々挑戦を続けています。

これからもスポーツの力で街を、そして日本を笑顔にしていき
たいと思います。



VOICE 3 会社見学



アニメ制作の説明を受ける海外からの留学生(慶応義塾大学)

トムス・エンタテインメントでは、企業研修で東京に来る地方の
中学生や高校生ならびに留学中の外国人大学生を対象に会社見学
の受け入れを行っています(2019年度は中野区の小学生も含め
8団体・計約80名が来訪)。試写室でアニメ制作工程、実物の
絵コンテ、原画などを見
てもらいますが、実際に使用
された絵素材を手にとって
見ることが刺激的なようで、
次々と鋭い質問が飛んでき
て内心焦ることもあります。
また「○○(当社の作品名)
が大好きです」と言われる
ことも少なくありません。

今後もこの活動を通じて、
一般的にはあまり知られて
いないアニメ業界の理解の
一助になれば、と考えて
います。

(株)トムス・エンタテインメント
コーポレート本部 業務部



前田 修平 (Maeda, Shuhei)



八重野 明子 (Yaeno, Meiko)

勝治 公美子 (Shoji, Kumiko)

社会支援

SEGASAMMY College×品川女子学院 共創プロジェクト



SEGASAMMY Collegeでは、セガサミーグループ本社近
郊にキャンパスを構える品川女子学院とともに、セガが開発し
たプリクラ機「fiz(フィズ)」とタイアップし、「夢のプリクラ」
の企画を行う共創プロジェクトを実施しました。

品川女子学院は、28歳の自分を思い描き、それを実現する
ためには何が必要か、どう行動すべきかを模索しながら、理想
とする未来に向かっていくことを大切にしています。この教育
理念に、セガサミーのDNAである「創造は生命×積極進取」が
共鳴し、共創プロジェクトが始まりました。

クラス中に溢れる笑顔、チャイムの後も途絶えぬ質問の数々。

共創プロジェクトを通じ、感動体験を創造する楽しさや喜びを
体験していただくとともに、私たちもこのプロジェクトで得た
新たな視点や刺激を「社会をもっと元気にカラフルに。」する
ための原動力にしていきたいと思います。



社会支援

スポーツダーツプロジェクト



ダーツライブは、誰一人取り残さない世界の実現を目指し、健康寿命を延ばせるスポーツとしてダーツを普及するプロジェクトを開始しました。2019年度は横浜市を中心に、小学校では4回、老人福祉施設で6回、ダーツイベントを実施しました。2020年度はそこで培ったノウハウをブラッシュアップさせ、その実績を全国へ普及していくために特設サイトをスタート。今後もスポーツとしてのダーツで新たな時代を創造していきたいと思っています。



スポーツダーツプロジェクト

<https://sportsdarts.jp/>

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド

SEGA Sammy



社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団が主催する福祉の総合イベント「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド」(愛称: ヨッテク) は、福祉機器の体験展示や最新技術の紹介、障がい者の自立と社会参加の可能性を広く市民に知っていただくため、



毎年、多くの障がい者をはじめ、支援者、家族、福祉機器メーカーなど、たくさんの方々が参加しています。セガサミーグループでは、開催の趣旨に賛同し、景品の提供などで協力するとともに、本イベントを通して、障がい者も健常者もともに生きる社会の構築に向けて、一緒に考えていきます。



NPOとの協働による 玩具の寄贈と玩具除菌活動

SEGA Sammy
HOLDINGS



2009年度より継続し11回目を迎えたこの取り組みは特定非営利法人日本NPOセンターとともに非営利団体を選定し寄贈しています。

小児がんや小児の難病治療の家族の滞在支援をする認定NPO法人 ファミリーハウスさまへ、病室のベッドで過ごすお子さんにご家族に笑顔と勇気をお届けするためにセガトイズの商品100点(2019年度分)と不織布マスク500枚をお届けしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で多くの病院では面会制限が行われ、病気のお子さんご家族にとってこれまで以上に「つながり」や「きずな」が感じられる支援が必要になっています。

玩具を気持ちよくお使いになっていただけるよう、当社グループの社員が宿泊施設を訪問し、一般のボランティアの方々と一緒に玩具やぬいぐるみの除菌作業を行っています。今後もすべての子どもたちとその家族が笑顔になっていただける取り組みを目指していきます。



ファミリーハウスさまからの寄附報告書

子どもの食の支援



グループの事業や施設利用を通して「子どもの成長を支えたい」という思いから、サミーでは『ユニバーサルカーニバル×サミーフェスティバル2020』で配布する予定だったオリジナルパッケージの菓子「うまい棒」を子ども食堂へ寄贈しました(児童クラブを運営するNPO法人や児童養護施設など26ヶ所、計57,000本を寄贈)。遊技機業界内でも子ども食堂への支援の輪は広がっています。このほか、フェニックス・シーガイア・リゾートは、自社農園で採れた野菜を継続的に寄贈しています。子どもたちの笑顔のために役立つことは嬉しく、今後も食品に

限らず支援活動を行っています。



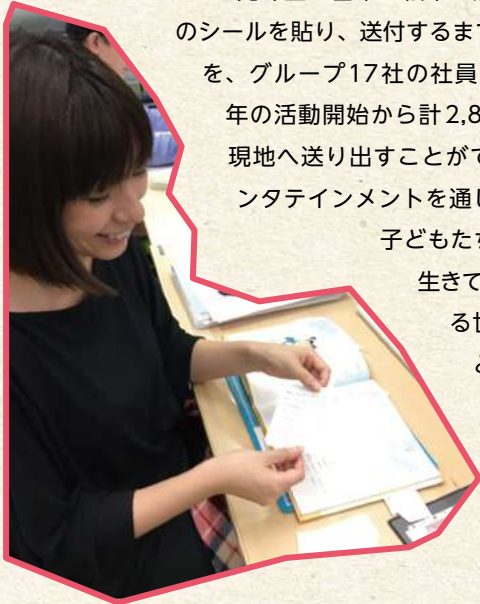
しながわ子ども食堂ネットワークの方へお菓子を寄贈する
セガサミーホールディングス広報部



©UNIVERSAL ENTERTAINMENT
©Sammy

セガサミーグループでは、紛争地域などに暮らす子どもたちへのエンタテインメントを通じた貢献を目的として、公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に参加しています。オフィスや家にある不用品を回収し、その売却金で日本の絵本を購入、現地語訳のシールを貼り、送付するまでの一連の活動を、グループ17社の社員で分担。2009

年の活動開始から計2,825冊の絵本を現地へ送り出すことができました。エンタテインメントを通して、すべての子どもたちが夢を持って生きていくことができる世界が訪れることを願い、この活動を続けていきます。



セガサミーグループでは、大崎本社各階でのペットボトルキャップの回収を通じ、を通じ、CO₂排出削減と世界の子どもへのワクチン接種普及に寄与しています。キャップは、専門業者によってリサイクルされることで焼却処分時のCO₂排出を抑えられるほか、業者への売却時に発生する収益を認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JVC) に寄付することで、世界の子どもたちの健康維持に協力することができます。2019年度は49,880個のキャップをリサイクルし、365.5kgのCO₂排出を抑制、65人分のワクチン購入額をJVCに寄付しました。



ペットボトルキャップ回収BOX

ペットボトルキャップ受領書	
セガサミーホールディングス株式会社 御中	
2019/12/3	65.00 Kg
個数:	27,960 個
ワクチン:	32.5 人分
CO ₂ :	204.8 Kg
※上記のCO ₂ は、キャップをリサイクルして焼却処分を減らすことで削減されたものです。(キャップ1kgで約、1.0kgのCO ₂ 削減と見做します)	
回収されたキャップの総数	49,880 個
ワクチン	67.5 人分
※ 回収されたキャップは、当社でリサイクルして再利用しています。 ※ 回収されたキャップは、当社でリサイクルして再利用しています。 ※ 回収されたキャップは、当社でリサイクルして再利用しています。 ※ 回収されたキャップは、当社でリサイクルして再利用しています。 ※ 回収されたキャップは、当社でリサイクルして再利用しています。	

回収時に発行されるリサイクル証明書例

スポーツ・芸術・文化支援



文化・芸術活動の発展に寄与し、豊かな社会の実現を目指した活動を行う一般財団法人 セガサミー文化芸術財団では、新たなパフォーミングアーツの拠点「Dance Base Yokohama (DaBY)」を横浜・北仲エリアにオープンしました。ダンスを巡る多くの人びとが垣根なく集える場=プラットフォームとして、DaBYを拠点に日本で生まれ育つ舞踊の振興・普及および国内外のアーティスト・組織団体との国際交流の促進を行っていきます。



セガサミーグループは、特定非営利活動法人 日本障害者スキー連盟を母体とするパラ・ノルディックスキー日本チームを継続的に支援しています。

同連盟は、障がい者およびその関係者がクロスカントリースキーやバイアスロンに親しみ、競技力の向上と同競技の振興と普及を図ることを目的とする組織です。「障がいのある方たちに、クロスカントリースキーやバイアスロンの楽しさを知っていただき、健康な体づくりを目指してほしい。パラリンピックなどを目指す障がいのある青少年に夢を与えたい」という思いで活動するチームの支援をこれからも続けます。



NPO法人 日本障害者ゴルフ選手会

SEGA Sammy

日本国内における障がい者ゴルフを取り巻く環境は、一般社会への認知度の低さに加えて、障がい者への周知もまだ十分とはいえず、障がい者が自由にゴルフを楽しめる機会や環境も少ないのが現状です。すべての障がい者ゴルファーが、ゴルフに接する機会をより多く持ち、生涯スポーツとして楽しむことができる活動も併せて進めていく必要があります。

セガサミーグループは、寄付や告知活動などを通じ、障がいがあっても生きがいを持って安心して楽しく過ごすことができる社会づくりに貢献していきます。



TOKYO JAZZ FESTIVAL

SEGA Sammy

セガサミーグループは、芸術・文化支援活動の一環として、世界中から一流のジャズアーティストが一堂に会する国内最大級のイベント『東京JAZZ (2020年からTOKYO JAZZ + plus)』への特別協賛を2002年の第1回開催より継続しています。「国境を越えて、世代を超えて」をテーマに毎年開催、良質な都市型音楽フェスティバルとして高い評価を得ています。2020年5月23・24日にて予定されていたTOKYO JAZZ + plus 2020は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためホール公演等がすべて中止となりましたが、一般社団法人セガサミー文化芸術財団では、いち早く実演の機会を失ったアーティストたちへの実演機会の提供と世界中の新型コロナウイルス感染症と戦う人々への芸術に接する機会創出のためのインターネット配信形式での無観客ライブ『TOKYO JAZZ + plus LIVE STREAM』への支援を世界で唯一表明。2020年5月23・24日配信され、12

万5,000人が視聴しました。



TOKYO JAZZ + plus
LIVE STREAM

ジュニアスポーツフェスティバル

SEGA Sammy



セガサミーグループは、「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」の開催地である千歳市、近隣の恵庭市、苫小牧市の小中学生を対象に、それぞれの競技のトップアスリートが直接指導を行うスポーツ教室「セガサミージュニアスポーツフェスティバル」を開催しています。13回目の開催予定であった2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止を余儀なくされましたが、今後もこのイベントが子どもたちの成長に貢献できるよう、活動を継続していく予定です。

セガサミーカップ学童軟式野球大会

SEGA Sammy



セガサミーグループは、東京都学童野球のレベルアップという大会の目的に賛同し、『セガサミーカップ学童軟式野球大会』に特別協賛しています。2019年、11回目の開催となった大会には16チームが出場。八王子市のセガサミー野球場と滝ガ原運動場野球場で、約320名の選手たちが熱戦を繰り広げました。また開会式当日には、セガサミー野球部現役選手による野球教室や、セガサミー野球部監督・コーチによる指導者向けの講習会など、野球教育のボトムアップの一助となるイベントも行われました。大会前に開催した講習会にはセガサミー野球部のキャプテンの宮川選手、陶久選手、砂川選手の3名が参加し、体験談を交えながら会場を沸かせました。累計参加者数約2,500名を誇るこの大会が、子どもたちの夢を叶えるステージになれるよう、今後も協賛活動を続けていきます。

U-18フリーキック選手権



MPandCでは、毎年、子どもたちの夢を達成させる場所として、ヴィッセル神戸監督 三浦淳寛氏および元国際審判員 西村雄一氏による監修のもと、地域とともにCSR活動の一環として『U-18フリーキック選手権』を開催しています。「世界で勝つために、日本をフリーキック大国に」をスローガンとし、中高生がフリーキックで勝敗を競う新たな大会で、日本のフリーキックレベル向上を目指しています。2019年はサッカー元日本代表キャプテンである柱谷哲二氏も大会スペシャルアンバサダーとして参加し、フリーキック選手権の前に行うキッズ

サッカークリニックで指導にあたりました。柱谷氏が子どもたちと全力で向き合い、「サッカーの楽しさ」「考えてプレーすることの大切さ」を伝えてくれたことで、会場は「ほんものの感動体験」に目を輝かせながら参加する子どもたちの笑顔で溢れていました。MPandCでは、このような活動を全国展開し、スポーツで日本中の人々を笑顔にしていきます。



地域活動

児童養護施設訪問(東京都八王子市)



セガサミー野球部は、拠点のある八王子市内の児童養護施設(3ヶ所)を、2010年より毎年12月に訪れ、

クリスマスイベントとして、子どもたちと交流を図っています。

2019年は野球部員11名が訪問し、クリスマスプレゼントを贈呈。ティーボールで体を動かしたり、たくさんの笑い声が溢れました。今後も地域との交流を図り、地域の方々に愛される野球部を目指していきます。

産業まつり「佐倉モノづくりFesta2019」(千葉県佐倉市)



セガ・ロジスティクスサービスでは、『佐倉モノづくりFesta』に地域貢献の一環として2012年より毎年出展しています。

2019年は「志津コミュニティセンター」の常設ブースにUFOキャッチャーを出展し2日間で約15,000人が来場しました。今後も地域社会の一員として活動していきます。



ちびっこレース(岐阜県各務原市)



オアシスパークは、子育て支援の一環として、春と秋の年2回「ちびっこレース」を開催しています。レースはお子さまの成長に合わせて、はいはいレース(未歩行の赤ちゃん)・かたかた



レース(2歳未満)・ぶーぶーレース(2歳)・三輪車レース(3歳から5歳)に分かれています。一生に一度のチャンスとあって、毎回たくさんのお子さまに参加いただいています。3世代での参加も多く、写真を撮って懸命に応援するほほえましい姿が見られます。また、育児を頑張っている親御さん同士の交流の場にもなっており、「良い刺激になる」と好評をいただいています。これからも、「思い出づくりのお手伝い」を通して子育て支援をしていきます。



施設はこちらから

<https://www.oasispark.co.jp/>

地域学生の職業観醸成、マナー向上支援(宮崎県宮崎市)



フェニックス・シーガイア・リゾートでは、地域の中学、高校、大学に協力し、学生の職業観の早期醸成、マナー向上のために社会体験研修や講話、見学会などを実施しています。

マナー講座(出前授業)では、社会体験前の事前講習や進学・就職を目指す学生の面接指導などを行い、見学会では、福祉科の高校生へバリアフリールームの見学や相手に与える印象をワンポイントマナー講座でお話ししています。

今後も、お客さまの快適な時間を創造するフェニックス・シーガイア・リゾートだからこそ伝え、提供できる支援をし、地域の成長発展に貢献していきます。

SEGA Sammy

HOLDINGS

セガサミーホールディングス株式会社

CSR・SDGs推進室

〒141-0033 東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー

TEL: 03-6864-2408

URL: <https://www.segasammy.co.jp>

セガサミーグループのCSR・SDGs活動をお届けする公式Twitterアカウントを開設



2020年4月、CSR活動をはじめとしてSDGs、コンプライアンス、働き方などに関わる情報を発信するTwitterアカウントを開設しました。

発信と受信の双方向コミュニケーションを通じて社会とのつながりをさらに広げ、深めるとともに、お客さまにセガサミーグループをより身近に感じていただけるようなフレンドリーな発信を行ってまいります。ぜひフォローをお願いいたします。



セガサミーCSR【公式】
[@SEGASAMMY_CSR](https://twitter.com/SEGASAMMY_CSR)



免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承くださいますようお願い申し上げます。



だれにも読みやすい、
ユニバーサルデザイン
フォントを使用しています。